ご当地自慢

乗鞍山麓五色ヶ原の森

64

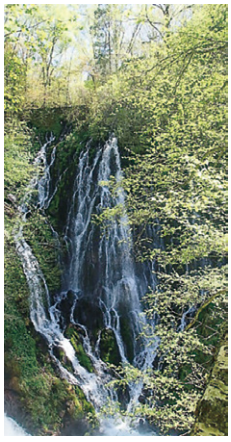
飛騨署

この森は、北アルプス乗鞍岳の北西山麓、中部山岳国立公園南端の標高約一、三〇〇～一、六〇〇㍍の民有地と国有地をあわせた約三、〇〇〇㌶の森林地帯に広がっており、これまで、ほとんど人の手が入っていない山地冷温帯及び亜高山帯の自然景観が広がる貴重な場所です。

平成十三年度から調査を行い、できるだけ環境にダメージを与えないよう歩道や施設を整備して、平成二十年にオープンしました。平成二十二年には「岐阜の宝もの」に認定されています。

日本で初めてとなる認定ガイドが同行して入山する完全予約制による案内を行っています。

ブナ、ミズナラ、サワグルミなどの広葉樹や、シラビソ、オオシラビソ、コメツガなどの針葉樹を主体に、可憐な花を咲かせる希少な植物も多数確認されています。また、数多くの野生動物も棲んでおり、足跡や鳴き声などを通じて訪問者を楽しませてくれます。



布引滝

カモシカコースの下から見た青垂滝

豊かな森を縫うように流れる渓流には豊富な水があふれ、切り立った溶岩台地を滑り落ちる滝があります。深い森の奥には静寂の中に青空を映し出す池が輝き、日々刻々と表情を変える木々の葉は秘境と呼ぶにふさわしいこの森をさらに魅力あるものへと演出してくれます。

この秘境には遊歩道を散策する二つのコースがあります。滝と渓流を巡るカモシカコースと苔むした渓流と点在する池を巡るシラビソコース、動と静の対照的なそれぞれのコースは、この森の自然や地形を熟知した認定ガイドが同行し、自然の生いたちや成り立ち、葉っぱの一枚から虫の一匹まで詳しく、そして楽しく案内してもらえます。

シラビソコースから見た乗鞍岳

シラビソコースの雄池

今年三月には、保護林制度の見直しに伴い、自然環境の保護や遊歩道等の管理・整備活動、自然散策ツアーの開催等、森林保全活動を引き続き円滑に行うため、高山市と飛騨森林管理署で新たに「多様な活動の森における保護、管理、利用に関する協定」を締結し、高山市のシンボルでもある貴重な自然の保全と利用の両立を図ることとしています。

今年は、この協定に基づき、新たな三つ目のコースが今年完成する予定です。まるでジブリ映画にでてきそうな景色が目の前に広がるこの森を散策してみてはいかがでしょうか。

◆お問い合わせは、五色ヶ原の森案内センターへ

☎〇五七七―七九―二二八〇

東海北陸自動車道　高山ＩＣから国道一五八号線を松本方面へ四十分